

蔵王の森だより

マンスリータイムズ 平成22年1月
和歌山県立和歌山西高等学校

特集 和歌山西高図書館



図書館は、蔵書の整理は言うまでもなく、本の案内、配架等、利用者のために様々な工夫がされています。西高図書館も同様に、本のレイアウトや図書館掲示板など、生徒たちに少しでも本に親



しんでもらうために、司書の先生が努力しています。まず、図書館に足を運んでもらうように、階段や廊下に案内表示、そして3階の階段を上った正面には、図書館の掲示板があり季節感のあるレイアウトになっています。図書館前には、ガラスケースがあり、そこにも思わず目の引く展示がされています。いよいよ、館内に入ると、真正面には一つのテーブルを展示台とし、新刊の案内展示や特集を組んでの蔵書案内、楽しいポップ等が並べられ、今日はどんな変化があるのかと思わせるような図書館になっています。今は、来月の校内マラソン大会にちなんで「短距離走、マラソン、オリンピック」についてクイズを取り入れた展示となっています。このように、西高図書館は、大変活気のある、何か発見や変化のある図書館となっています。少しでも多くの生徒に本に親しみ、本を



好きになるようにという、司書の土橋先生の熱意が伝わってきます。

また、昨年夏に行われたよみかたりボランティア養成講座を受講した生徒たちが、地域の幼稚園（西脇幼稚園）に訪問し、園児達に絵本を読んだり、手遊びや砂遊びで交流しました。生徒たちは、



土橋先生や「おはなしボランティアきいちご」の山路幸子先生御指導のもと、昨年夏からのよみかたりの練習に熱心にとり組んでいました。幼稚園訪問により練習の成果が発揮され、生徒にとって大変いい経験になったと思います。

「環境」水をきれいにするクリーナー 1月22日（金）

本校には「環境」という本校独自に設けられた科目があります。地球上でおきている様々な環境問題に気づき、正しく理解し、自然の中の一部として人間はどうあるべきかを考え



させることを目的としています。環境教育は「持続可能な開発のための教育（ESD）」として、ますます力を入れていかなければならない領域です。

今月の授業では、細菌を利用して水をきれいにするクリーナーを作りました。ヨーグルト、納豆、ドライイースト、砂糖をぬるま湯に入れて混ぜ、一週間適温で発酵させることにより完成します。今は、発酵途中で完成を待っているところですが、完成したら、その溶液の成果をまとめる予定です。

また、環境の授業を通じてペットボトルのキャップを回収し、ワクチンに変える活動も図書部と協力して行っています。来月は、ゴミ処理施設の見学も予定しています。生徒たちには、このような体験をすることにより、環境問題の解決に向けた一歩を踏みだしてほしいと思います。



